ブロック別の動向

前月と比べたDI値の動き　↗ 改善　→ ほぼ横ばい　↘ 悪化

↗ 北海道	**北海道は、改善**。製造業では、公共工事や民間工事の本格化に伴い需要が拡大し、窯業・土石製品製造業を中心に売上・採算が改善した。サービス業では、観光需要の底堅さに加え、地域イベントの開催による集客増が支えとなり、宿泊業や運送業を中心に売上・採算が改善した。飲食店からは、秋の行楽シーズンや地域イベントの開催によるさらなる需要増加に期待を寄せる声が聞かれた。
→ 東北	**東北は、ほぼ横ばい**。製造業では、外出機会の増加に伴う需要拡大に支えられ、繊維製品製造業を中心に売上・採算が改善した。米沢市の織物外衣製造業者からは、工場見学イベント「360°よねざわオープンファクトリー」への参加で国内外の来場者が増え、製品販売の拡大に繋がった、との声が聞かれた。一方、卸売業では、大雨被害の影響を受け、建築金属材料を中心に売上・採算が悪化した。
↗ 北陸信越	**北陸信越は、改善**。製造業では、設備投資需要の底堅さに支えられ、電気機械器具を中心に売上・採算が改善した。小売業では、猛暑の和らぎに伴う人出の回復や敬老の日等のハレの日需要に支えられ、ギフト専門店や衣料品店を中心に、売上が改善した。なお、電気計測器製造の事業者からは、最低賃金の急激な上昇に対応が追いついておらず、経営状況が悪化している、との声が聞かれた。
→ 関東	**関東は、ほぼ横ばい**。小売業では、天候不順の影響による客足の減少を受け、食料品店を中心に売上・採算が悪化した。百貨店からは、相次ぐゲリラ豪雨や長雨による来店客数の減少に価格上昇も重なり、売上が伸び悩んでいる、との声が聞かれた。一方、建設業では、公共工事や民間設備投資の堅調な推移に支えられ、設備工事業を中心に売上・採算が改善した。
→ 東海	**東海は、ほぼ横ばい**。小売業では、イベントの開催等で飲食料品の需要が高まり、百貨店や総合スーパーを中心に売上・採算が改善した。スーパーマーケットからは、値上げを実施せざるを得ない中、特売時のまとめ買い傾向が高まっている、との声が聞かれた。一方、建設業では、資材価格の高騰が響き、板金や塗装などの職別工事業を中心に売上・採算が悪化した。
↘ 関西	**関西は、悪化**。卸売業では、資材価格の高騰や天候不順による工期延期の影響を受け、作業工具などの金物関連や農畜産水産物を中心に売上が悪化した。農畜産水産物卸の事業者からは、猛暑に加え、台風やゲリラ豪雨などの異常気象が相次ぎ、秋冬野菜の生育への影響が懸念される、との声が聞かれた。建設業では、新築住宅の需要減少などの影響により、民間住宅向け一般工事業を中心に売上・採算が悪化した。